

読まれる広報が議会と住民をつなぐ

議会広報研究会 令和7年11月20日（木）群馬県市町村会館

◆議会の見える化 住民の参加・協働&認知・信頼関係

議会広報サポーター 一般社団法人 埼玉県コミ
ニュケーションセンター理事長 芳野政明氏

議会広報の目的と役割に関する研究会でした。
自治会や議会の『見える化』を進め、『開かれた
議会』など住民に読まれる議会だよりへ移行

して、目的意識を持って、議会広報の役割や目
標を検討することが必要だと思いました。また
読まれる広報・伝わる広報が前提であることも
大きな意味を持つと思いました。研究会におい
て、今まで知らなかったことを学んで、今後の
議会だより作成の参考になるのではないかと感
じ、とても重要な研究会でした。

デジタルと政治から考える、これからの議会活動

町村議会議員研修会 令和7年11月5日（水） 玉村町文化センター

◆地方議会のデジタル化の意義と課題

明治大学専門職大学院ガバナンス研究科教授
湯浅壘道氏

◆時局展望

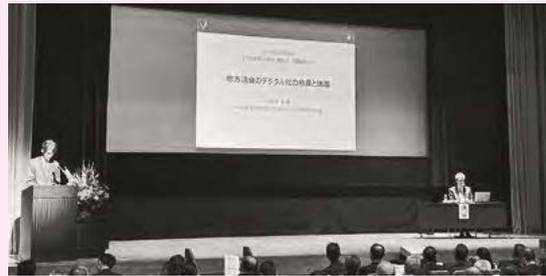
政治ジャーナリスト 細川隆三氏

「デジタル化」についての講演では、従来の
アナログ方式とデジタル方式の相違について例
を挙げ、デジタル化の方がずっと手軽で、緊急
時の対応に便利で実効性があることを学びまし
た。低コスト・時間短縮・単純ミス削減など
利点が期待できることも分かりました。しかし、
サイバーセキュリティの問題があることや、法
の制限や制約がありデジタル化できない事項も
あることなど、考えなければならない部分もあ

ると感じました。

「時局展望」では、政治の話が興味深く、さ
らに聞きたいと思うほどでした。

どちらの講演も意義深く、学びの多い内容で
した。今後の議会活動に役立てていきたいと思
う研修会になりました。



「地方議会のデジタル化の意義と課題」の湯浅壘道氏（右）

地域の声を聞く

玉村町商工会と意見交換会を行いました

玉村町商工会・玉村町議会意見交換会 令和7年11月10日（月）玉村町商工会館

11月10日に玉村町議会は玉村町商工会を訪
問し、意見交換会を行いました。昨年10月よ
り5人の新議員を迎え、新たな顔ぶれとなっ
てから初めての意見交換会となりました。

意見交換会では商工会の組織や活動内容や
商工会員数の推移や予算、事業実績等につ
いて説明をいただいた後、意見交換を行いま
した。

そして商業部会・工業部会・青年部・女性部
の各部会より、活動内容や活動における工
夫や課題等を詳しくお聞かせいただき、意見交

換や質疑を通してより理解を深めることが
でき、大変有意義な時間となりました。



商工会と議会が率直な意見を交わし、理解を深めました